

2022年度 4大会について

新型コロナウイルス感染症に対するガイドライン

岡山県高等学校体育連盟 ゴルフ専門部

行動規範

新型コロナウイルス感染を避けるため、大会期間中は専門部が決めた下記の事項を順守し、専門部の指示に従ってください。

各大会によって、変更がある場合は要項に掲載します。

- ① 大会前は、感染が発生している地域への移動は控えること。
- ② 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等 への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ 大会2週間前から検温し、問診票に記入のうえ専門部に提出すること。
- ④ 大会開催中は、毎朝、体温を測定し自己申告書を提出すること。
- ⑤ マスクを持参すること（クラブハウス内はマスク着用を厳守）。
- ⑥ こまめな手洗いを行うこと（30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う）。
- ⑦ 設置している消毒用アルコール剤で手指消毒を実施すること。
（アレルギーその他、個々の手の状態により⑥のみでも可）
- ⑧ 口・鼻・目に不用意に触れないこと。
- ⑨ 可能な限りソーシャルディスタンス（約2m）を保つこと。
- ⑩ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑪ 出場選手は、体調不良を少しでも感じたらコース上すべての人のために競技を棄権し申し出ること。
- ⑫ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門部に対して速やかに感染の事実及び濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑬ 万一、大会期間中に陽性者が会場にいたことが判明した場合、二次感染の予防のため専門部から状況をお知らせするので、問診票に緊急連絡先（携帯電話・メールアドレス）の記入をしてください。

※取得した個人情報は、緊急連絡時以外は使用しません。

大会期間中の感染予防策

◦委員会の取り組み ▶選手の行動

◆車寄せ（玄関）

- ▶キャディバッグの荷下ろしはプレーヤー自身で行うこと。
- ▶玄関からスタート室前までは、プレーヤー自身で運ぶこと。

◆クラブハウス

- クラブハウス内のアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
（ロッカー取手・ロッカーキー回収・自動精算機・フロントカウンター周り）
- クラブハウス内の換気を実施します。
- 消毒用アルコールを各所に配備します。
- サーモグラフィカメラまたは非接触型の検温器による検温を毎日実施します。
（37.5℃以上の場合は、出場の可否を連盟で協議します）

◆浴室は使用しない。

◆レストラン

- パーティション（アクリル板等）を設置します
- アルコール消毒を定期的かつ随時行います（テーブル・椅子・メニューカバー）。

◆乗用カート

- ゴルフカートのアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
（ハンドル・シート・手摺り）

◆スターター

- ソーシャルディスタンス確保します。

◆アテスト

- ▶アテストエリアに入る際、消毒用アルコールで手指消毒を実施すること。
- ▶アテスト中はマスクを着用すること。

◆競技委員

- 選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保を心掛けます。

◆成績表示

- 密の状況を避けるため、携帯サイトから閲覧できるようにします。

◆表彰式

- 換気の状態や広さと、出席する人数（密度）を勘案して実施します。

大会開催における基本方針

◆開催可否の判断

岡山県高体連の意向に従います。

◆大会実施の制限

無観客試合とします。

◆スタッフの対応

- 問診票の提出を徹底し、37.5℃以上の場合は自宅待機とします。
- 検温を完了した証明としてネックストラップを着用します。
- マスクまたはフェースシールドを着用します。
- 頻繁な手洗いうがい、アルコールによる手指消毒を行います。

◆緊急時（荒天時）の対応

- 密の状況を作らないように早めに中断を決定します（避難時間の確保）。
- 避難ツール（車両・乗用カート）の十分な量を確保します。
- 避難場所のスペース（単純な広さとして）を確保します。
(クラブハウスの他にカート庫等の利用)

◆選手の新型コロナ感染による大会出場の判断基準

基本的に保健所及び学校の判断を最優先とします。

① 陽性または濃厚接触者になった場合

⇒待機の命令がでますので、その範囲で試合がある場合は、出場できません。

② 大会期間中に休校や学級閉鎖等になった場合

⇒保健所の見解により学級閉鎖が解除される前や、学級閉鎖期間(最終接触日の翌日から4日間が目安。)が終了する前であっても、校長が特に認める場合は、抗原定性検査(以下、「検査」という。)に参加する当日の朝ごとに行った上で、陰性の結果が確認された場合に限り、大会等への参加を可能とします。

※使用する検査キットについては、薬事承認された製品

(国が承認した「体外診断用医薬品」)であること。

④ それ以外 ⇒問診票・自己申告表をきちんと提出して、出場する。

◆選手及び関係者から大会期間中または大会後にPCR検査の陽性反応が出た場合

- 該当顧問から、専門部へ連絡をする。
- 専門部は各校と個人登録者に連絡をする。
- 保健所の指示に従い、大会を中止にすべきか検討する。